

一般質問(要旨)

●質問者

10月10日(木)

常井 洋治 (いばらき自民党)

鈴木 聡 (日本共産党)

先崎 光 (いばらき自民党)

10月11日(金)

星田 弘司 (いばらき自民党)

齋藤 英彰 (民主 党)

本澤 徹 (いばらき自民党)

10月15日(火)

田村 けい子 (公 明 党)

石井 邦一 (いばらき自民党)

加藤 明良 (いばらき自民党)

10月16日(水)

横山 忠市 (いばらき自民党)

川口 政弥 (自民県政クラブ)

山岡 恒夫 (いばらき自民党)



常井 洋治 議員
いばらき自民党
出選方式
笠間分割

畜産試験場跡地への
医科大学誘致方針の明確化

議員 本県の医師数は全国的に最低クラスにあり、その解消のためには、医科大学の誘致は絶対に必要である。そのため、知事は改めて医科大学誘致の方針に変更はないとの決意表明をしてはどうか。
知事 本県の医師不足の抜本的な解消のためには、医科大学の誘致は有効な手段と考えており、今も医科大学の誘致の方針や重要性に関する認識は変わっていない。今後も医学部の新設などについて全力を尽くしていく。

がん患者と家族を孤立させない
方策の実現

議員 がん患者はがん患者特有の心理的状況に悩まされる人が多い。そのため、心理的不安を和らげる臨床心理士などがある相談窓口やデイケアなど、患者を孤立させず、家族を支援する全県的な仕組みづくりが必要と考えるがどうか。
保健福祉部長 今後は相談窓口で臨床心理士などの配置を働きかけるとともに、患者・家族の悩みや体験を語り合う「患者サロン」の設置などに取り組みを進めたい。

(ほかに、財政再建、県立中央病院のさらなる進化なども質問)



医科大学誘致が望まれる畜産試験場跡地(笠間市)



鈴木 聡 議員
日本共産党
出選方式
日西一括

新中核病院建設の見通し

議員 新中核病院の建設は、地域医療再生計画の原点に立って進めるべきである。知事には筑西・桜川両市長に話し合いを進めるよう要請するとともに、病院建設に向け、再生基金活用の期限延長を国に求めるべきと考えるがどうか。
知事 現状がいかに深刻かを関係者が理解することが重要である。県は、両市の意向を踏まえながら、事態の打開に向け最大限の努力をする。具体的な方向性がまとまれば、期間延長を国に働きかける。

東海第二発電所再稼働準備中止、
廃炉に

議員 日本原子力発電は東海第二発電所の再稼働を目指したいと表明したが、新規基準は放射能を外部に放出することを前提とするなど問題がある。県民の安全のため、東海第二発電所の再稼働中止と廃炉を求めるべきではないか。
知事 国の原子力発電に係る方針や東海第二発電所の再稼働に係る判断などを踏まえ、県原子力審議会の審議や地元自治体などの協議をふまえ方針を決定していく。



整理統合が望まれる筑西市市民病院



先崎 光 議員
いばらき自民党
出選方式
那珂分割

消防救急無線・指令センターの
共同整備

議員 消防救急無線などの県域一ブロック化を目指したが、三十四市町二十一消防本部の参加にとどまった。今後、不参加の市町村へのフォローと共同指令センターなどの運営にどう取り組むのか。
知事 不参加の消防本部に引き続き参加を働きかけ、併せて無線の相互接続の技術的方法を検討する。また、共同整備の消防救急無線などと県が整備する防災情報ネットワークシステムを接続し、大規模災害時に迅速・的確な対応を図る。



共同指令センターの様子(ちば消防共同指令センター)

林業を支える苗木生産の振興

議員 持続的な林業経営の推進には、間伐に加え、木材利用の拡大や積極的な植林、そのための苗木の生産、供給が必要である。苗木生産をどう振興していくのか。
農林水産部長 本県では、那珂市を中心に全国有数の産地を形成しており、生産者の確保や経営の安定化のため、研修や巡回指導などを行っている。今後は、植林・育苗がしやすいコンテナ苗など新たな生産技術の導入を図っていく。

(ほかに、農地集積と担い手の育成、学校の活性化なども質問)



星田 弘司 議員
いばらき自民党
つくば市選出
分割方式

つくば国際戦略総合特区の
進捗状況に対する国の評価

議員 一昨年十二月に指定を受けたつくば国際戦略総合特区の取り組みは、推進体制が整い具体的に機能し始めてきた。現在の進捗状況に対しての国の評価はどうか。
知事 昨年度は、プロジェクトごとの十二の評価指数のうち十の指標で目標を達成し、残り二つも八割を超える達成率である。他の総合特区よりも具体的な年度目標を掲げて着実に進めており、視察に訪れた政府関係者や有識者などからも高い評価をいただいている。

小児医療費助成制度の拡充

議員 県の小児医療費助成制度は小学校三年生までが対象だが、市町村は独自で県の基準に上乗せして助成している。住む場所によって助成内容に差がある不公平を是正するため、県として制度の拡大を実施すべきではないか。
保健福祉部長 現在、拡充に向けてさまざまな形のシミュレーションを行っている。今後とも鋭意検討してまいりたい。



「ロボットの街つくば」の公道を走るセグウェイ

県議会中継で手話通訳を行っています

平成25年第2回定例会から、本会議の議会中継に手話通訳を導入し、聴覚障害のある方にも、県議会の活動、県政の課題などをタイムリーにお知らせすることが出来るようになりました。
県議会ホームページにおいて、生中継及び録画中継をご覧いただけるほか、「いばキラTV」でも生中継をご覧いただけます。



県議会ホームページ <http://pref.ibaraki.jp/gikai/>
「いばキラTV」 <http://ibakira.tv/>